【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【公表番号】特表2018-523552(P2018-523552A)
【公表日】平成30年8月23日(2018.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2018-032
【出願番号】特願2018-522829(P2018-522829)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　15/00　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　15/06　(2006.01)
Ａ６１Ｊ　1/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　15/00　Ｚ
Ａ６１Ｍ　15/06　Ａ
Ａ６１Ｊ　1/10　３３３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
吸入可能な液体を患者に送出するための吸入器デバイスであって、前記装置が、
（１）吸入器本体と、
（２）少なくとも１つの空気入口開口と、
（３）少なくとも１つの蒸気吸入開口と、
（４）吸入可能な液体が予め充填された受動蒸発支持材料を密封収容するための蒸気不透過性フィルム又は箔を備える貯留袋と、
を備え、
貯留液体は、前記袋が開放されるときに患者への投与のために蒸気の形態で前記貯留袋から前記吸入器本体内へと放出され、更に、前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口が前記吸入器本体を通る空気／蒸気経路をもたらす、吸入器デバイス。
【請求項２】
吸入可能な液体を患者に送出するための吸入器デバイスであって、前記装置が、
（１）吸入可能な液体を受けるための受動蒸発支持材料を備える吸入器本体と、
（２）少なくとも１つの空気入口開口と、
（３）少なくとも１つの蒸気吸入開口と、
（４）吸入可能な液体を密封貯留するための蒸気不透過性フィルム又は箔を備える貯留袋と、
を備え、
貯留液体は、前記袋が開放されるときに患者へ投与するための蒸気を形成するために前記貯留袋から前記吸入器本体内へ及び前記受動蒸発支持材料上へ放出され、更に、前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口が前記吸入器本体を通る空気／蒸気経路をもたらす、吸入器デバイス。
【請求項３】
前記貯留袋は、前記吸入器本体の開口を通じて突出するプルタブを備え、前記プルタブ

は、前記貯留袋を開封するためにユーザが把持して引っ張ることができる請求項１又は２に記載の吸入器。
【請求項４】
前記貯留袋は、該貯留袋を開放するように前記吸入器本体と係合し、前記吸入器本体は、前記装置の移動によって動作可能な穿孔手段、穴開け手段、又は、穿刺手段を備える請求項１又は２に記載の吸入器。
【請求項５】
前記貯留袋は、前記吸入器本体に締結するための外周部を備える請求項１から４のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項６】
前記吸入器本体が前記貯留袋を所定位置に締結するようになっている請求項１から５のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項７】
前記吸入器本体は、随意的に、上側吸入器本体部及び下側吸入器本体部、内部リム、棚、及び、床から成るグループから選択される締結部を備える請求項６に記載の吸入器。
【請求項８】
前記貯留袋は、随意的に締結手段を備えることができる前記吸入器本体の上部と下部との間に挟み込むことによって所定位置に締結され、或いは、前記吸入器本体の内部リム、棚、又は、床に締結手段によって締結され得る請求項６又は７に記載の吸入器。
【請求項９】
前記吸入器本体は、
（１）基端部と、
（２）マウスピースチャンバを備えるマウスピース端部と、
（３）少なくとも１つの空気入口穴を備える空気取り入れチャンバと、
（４）長尺本体内に空気濾過手段を内部で受け入れるようになっているとともに、前記基端部に随意的に位置される少なくとも１つの空気出口穴を備える空気出口チャンバと、
（５）前記長尺本体をその長手方向軸に沿って前記基端部から部分的に分割して、前記マウスピースチャンバで終端し、前記空気取り入れチャンバの床と前記空気出口チャンバの屋根とを形成する内部棚と、
を備え、
前記貯留袋が前記空気取り入れチャンバ内に位置される、請求項１から８のいずれか一項に記載の吸入器デバイス。
【請求項１０】
前記内部棚は、平面状又は非平面状であり、１つ以上の凹陥部を随意的に備える請求項９に記載の吸入器。
【請求項１１】
前記マウスピース端部の前記内部棚に当接される二方向弁を更に備え、前記マウスピース端部を通じた患者による呼吸は、
（ａ）患者による吸気時に、前記空気取り入れチャンバと前記マウスピースチャンバとの間で前記二方向弁を開いて、蒸発した液体を蒸気の形態で患者に送出するとともに、前記空気出口チャンバと前記マウスピースチャンバとの間で前記二方向弁を閉じ、
（ｂ）患者による呼気時に、前記空気出口チャンバと前記マウスピースチャンバとの間で前記二方向弁を開いて、呼気を排気するとともに、前記空気取り入れチャンバと前記マウスピースチャンバとの間で前記二方向弁を閉じる、
請求項９又は１０に記載の吸入器。
【請求項１２】
前記空気取り入れチャンバと前記マウスピースチャンバとの間に一方向弁を更に備え、及び／又は、前記マウスピースチャンバと前記空気出口チャンバとの間に一方向弁を更に備える請求項９又は１０に記載の吸入器。
【請求項１３】

前記空気入口穴が空気取り入れ制御手段を更に備える請求項９から１２のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１４】
前記空気濾過手段が活性炭を備える請求項９から１３のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１５】
前記吸入器本体がレセプタクルとレセプタクル蓋とを備え、前記レセプタクル蓋は、随意的に回転可能に開放でき、随意的に該蓋を回転させて開放する際に前記蒸気不透過性フィルムを穿孔する、穴開けする、又は、穿刺するようになっている鋸歯状突出部を備える請求項１から８のいずれか一項に記載の吸入器。